

お名前 様

月・日	入院当日	手術2日前	手術1日前	手術当日 OPE前	OPE後	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4～9日目	
治療				<ul style="list-style-type: none"> 手術が午後の場合は9時頃より点滴をはじめます。 	<ul style="list-style-type: none"> 胸に管が入ってきます。 背中に痛み止めの管が入ってきます。 酸素をマスク又は鼻から吸います。 必要時、腕に血圧を測る管が入ってきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日当番医が回診に来ます。 大きな点滴は食事が取れたら抜けます。 呼吸状態や血圧の値が安定していれば 10:00までに外します。 			レントゲンをみて退院を決めます。	
内服	<ul style="list-style-type: none"> 内服薬は(続行・中止)です。 数日以内に薬剤師より薬に関して説明があります。 便秘の場合は下剤をお渡しします。 	<ul style="list-style-type: none"> 21時に下剤を飲みます。 				<ul style="list-style-type: none"> 胃薬が開始となります。 薬剤師より薬の説明があります。 				
処置	<ul style="list-style-type: none"> 身長・体重をはかります。 外来で指導を受けた呼吸訓練を毎日行います。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ①コーチ・・・()ml 3秒以上上げて下さい ②腹式呼吸・・・砂嚢を使って行います。 ③深呼吸・・・ゆっくり大きな息をして下さい ④口すぼめ呼吸 ...口元に抵抗をかけることで肺が膨らみやすくなります。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 手術部位と毛を剃りきれいにします。 爪切り、マニキュア除去をして下さい。 その後にシャワー浴をして下さい。 16:30ころ医師が手術側(耳)に印をつけます。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術1時間前に、トイレ・洗面を済ませ、術衣に着替えて頂きます。(靴は着いたままでOKです) 義歯・Aピアス・指輪を外して下さい。 弾性ストッキングを履きます。 出棟前に必ず歯磨き・うがいをして下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 指に酸素をはかる機械をつけます。 心電図モニターを胸につけます。 足の血行をよくするために、弾力ストッキングと圧をかける機械を装着します。 	<ul style="list-style-type: none"> 機械類は10時までに除去します。 弾性ストッキングは、そのまま使用します。 毎日体重測定をします。 呼吸訓練を毎日行います。 	<p>術後の呼吸訓練は重要です。毎日チェックリストに記入しましょう。痛いからと言って腕を動かさないと、五十肩の原因になるので毎日腕の体操をしてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 背中に入っている麻酔の管が抜けます。 胸のレントゲンの結果で胸の管が抜けます。 歩行の様子でストッキングを除去します。 			
検査						<ul style="list-style-type: none"> 朝、血液をとりまます。 胸のレントゲンを撮ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 胸のレントゲンを撮りに行きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝、血液をとりまます。 胸のレントゲンを撮りにいきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後4日目に胸のレントゲンを撮ります。 	
安静度	<p>制限はありません。病棟内の歩行を励行してください。</p>				<ul style="list-style-type: none"> ベッド上安静です。 医師の指示により、看護師の介助で背もたれを起すことや横を向くことが出来ます。 	<ul style="list-style-type: none"> 午後までにベッド脇に立ちます。 問題なければトイレまで必ず歩行してください。(最初は看護師と一緒にいきます。) 	<p>病棟内を毎日よく歩行してください。回復が早くなります。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 5日目から行動範囲に制限がありません。 	
食事	<p>普通食または治療食が出来ます。特別な栄養管理の必要性 (有・無)</p>		<p>() 時以降は絶飲食です。(麻酔科受診後に指示が出ます)</p>		<ul style="list-style-type: none"> 絶飲食です。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝食より食事が開始となります。 				
清潔	<p>制限はありません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①弾性ストッキング(2足病棟でお渡しします) ②タオル3枚 ③バスタオル2枚 ④ティッシュ1箱 ⑤ゆかた ⑥T字帯1枚またはオムツ 						<ul style="list-style-type: none"> 胸の管が抜けるまで、毎日体をタオルで拭きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 管が抜けたら、翌日から全身シャワー浴が可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> 抜糸は外来受診の際に行います。 退院後はシャワー浴は可能です。
排泄	<p>制限はありません。</p>				<ul style="list-style-type: none"> 尿の管が入ってきます。(入ってこない場合は尿器で行います) 排便はベッド上で行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 10時頃に尿の管が抜けます。 	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 		<ul style="list-style-type: none"> 傷のテープがはがれてしまったら、そのままにしておいてください。こすらないように洗ってください。 	
患者様ご家族への説明	<ul style="list-style-type: none"> 入院時のオリエンテーションのバスの説明をします。 必要物品をご用意ください。 書類の提出をご確認ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ①病状説明書確認 ②輸血同意書確認 ③特定生物由来同意書 ④手術「説明と同意書」 ⑤HIV承諾書 ⑥全身麻酔「説明と同意」 	<ul style="list-style-type: none"> 麻酔医の診察がありま(ご家族も同席してください) 口腔外科の診察がありま(外来で診察が済んでいない) 	<ul style="list-style-type: none"> ご家族の方は手術予定の30分前までに病棟にお越し下さい。 手術中はロビーで待機して頂きます。 病棟を離れる時には必ずNSにお伝えください。 	<ul style="list-style-type: none"> 帰室直後は処置がありますので、ご家族の方はロビーで、お待ちください。終わりましたら入室していただけます。 手術後Drから説明があります。 大きな問題が無ければ、ご家族は自宅待機となります。 	<p>痛みを我慢すると離床が進まず、肺のふくらみも悪くなります。痛みは我慢しないで、痛み止めを使いましょう!!!</p>	<p>肺のふくらみを早くするには歩くのが一番です。歩かないと肺が膨らまず管が抜けません。どんどん歩いてください。呼吸訓練もどんどん行い早く管が抜けるように頑張りましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 絆創膏を再度貼り替える必要はありませんが、糸が服に引っかかるのが気になるようなら貼ってもかまいません。 激しい運動は医師に相談してから行ってください。 次の外来受診は、お家の方と頑張りましょう。 		
目標				<p>手術が不安なく受けられ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大量出血がない。 痛みがコントロールできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みがコントロールできる。 呼吸訓練・病棟内歩行が出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全に胸の管の取り扱いができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 退院後の生活を理解する。 	

この入院診療計画書は診療計画の概要などをお知らせするものであり治療・検査などを決定するものではありません。病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。